

世界の言語と危機言語

科目責任者 笹原 健
学年・学期 1 学年・1 学期

I. 前 文

世界で話されている言語は4000とも6000とも言われ、きわめて多様である。本科目では、世界の言語とその系統を学び、その多様性を理解する。1学期は世界の言語に目を向け、その特徴を概観する。各自、任意の言語を選び、学期末にその言語について発表してもらう。

II. 担当教員

非常勤講師 笹原 健

III. 一般学習目標

・世界で話されている言語について理解する

IV. 学修の到達目標

- 1) 外国語についての関心を持つ
- 2) 言語に限らず、世界に目を向ける習慣を身につける
- 3) 自ら調べ、探求する楽しさを体験する

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)
2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション
6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	5	13	水	5	導入：世界で話されている言語	笹原 健	3
2		20	水	5	アジアの言語 (1)	笹原 健	1
3		27	水	5	アジアの言語 (2)	笹原 健	1
4	6	3	水	5	ヨーロッパの言語 (1)	笹原 健	1
5		10	水	5	ヨーロッパの言語 (2)	笹原 健	1
6		17	水	5	アメリカの言語とアフリカの言語	笹原 健	1
7		17	水	6	まとめのプレゼンテーション	笹原 健	5

VI. 評価基準 (成績評価の方法・基準)

以下のとおり成績評価する。() 内は評価の割合。
授業への参加度 (100%)

VII. 教科書・参考図書・AV資料

適宜オンライン資料を用意する (LMSで公開)。

VIII. 質問への対応方法

授業の前後やLMSのメッセージ、または電子メールで受け付ける (k-sasahara@dokkyomed.ac.jp)。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	◎
能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる	○
地域医療の理解 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる	
国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる	○
リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる	○

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業時に口頭で解説します。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

事前学習（15分）：LMSで事前の質問を出すので、必ず回答してから授業に臨むこと。

事後学習（20分）：LMSでコメントペーパーを提出し、与えられた課題に取り組む。

XII. コアカリ記号・番号

シラバス別冊を参照。